



スカートを踏まれ続ける

女性議員はなぜ日本で増えないのか？

「女性の活躍推進」掲げる安倍政権。だが現状は、女性が平等に自由に活躍できているとは言えない。その最たるものは、政治の世界かもしれない。女性はまだ圧倒的少数派だ。辻元清美、野田聖子、蓮舫の3議員が、この問題について徹底的に語り合った。

編集部 小林明子(写真も)

政治家としてのキャリアを積みながらも、いまだ女性ならではの壁を感じている。12月1日に上智大学であったシンポジウムで、野田聖子衆院議員(自民党)、辻元清美衆院議員(民主党)、蓮舫参院議員(同)が実情を語った。

政治家としてのキャリアを積みながらも、いまだ女性ならではの壁を感じている。12月1日に上智大学であったシンポジウムで、野田聖子衆院議員(自民党)、辻元清美衆院議員(民主党)、蓮舫参院議員(同)が実情を語った。

会での私の発言は3分50秒。男性議員がもっと長く持論を展開しても命令調のヤジはなかった。案の定、蓮舫さんにもヤジ飛ばしていましたよ。

野田 1990年、29歳で初めて国会議員に立候補した時、自民党は衆議院で女性議員ゼロ。で、落ちました。男性有権者からの性的な嫌がらせは容赦なかった。お尻や胸を触るのは当たり前、「下着を見せたら1票やるぞ」と平気で言う。

蓮舫 地方のパーティーでは、写真撮影で女性議員の腰に手を回してくるオヤジがまだまだいます。私が「やめてくれますか、この手!」とはつきり言うのと、シーンと場が固まるの(笑)。声を出すことで徐々に、絶対に社会は変わる。私たちが諦めないことが大事です。



「女性候補者の3割はセクハラに悩まされた」という経験を持つ蓮舫(左)、野田聖子(中)、辻元清美(右)の3議員が、シンポジウムで実情を語った。

野田 中選挙区制だった頃は「ついでに女も」という発想で、女性候補者に比較的、票が入りやすかった。ただ、ついでの女

男と並ぶのは許さない 野田 98年に戦後最年少(当時)で郵政大臣として入閣した時は、先輩男性議員から「スカートをはいていられる大臣になれるんだな」と言われました。今なら「あなたも穿けば?」と言いつつ、当選2回の37歳、ウブだったので固まりました。「背伸びはしてもいいよ、お嬢ちゃん。だけど俺と並ぶことは許さないぜベイビー!」みたいなね(笑)。

野田 98年に戦後最年少(当時)で郵政大臣として入閣した時は、先輩男性議員から「スカートをはいていられる大臣になれるんだな」と言われました。今なら「あなたも穿けば?」と言いつつ、当選2回の37歳、ウブだったので固まりました。「背伸びはしてもいいよ、お嬢ちゃん。だけど俺と並ぶことは許さないぜベイビー!」みたいなね(笑)。

野田 98年に戦後最年少(当時)で郵政大臣として入閣した時は、先輩男性議員から「スカートをはいていられる大臣になれるんだな」と言われました。今なら「あなたも穿けば?」と言いつつ、当選2回の37歳、ウブだったので固まりました。「背伸びはしてもいいよ、お嬢ちゃん。だけど俺と並ぶことは許さないぜベイビー!」みたいなね(笑)。

日本活性化の起爆剤 辻元 私は、女性の声を受け止めることが日本を救うと考えているのよ。大きな課題は三つ。一つ目は労働問題。非正規で働く人の6割以上は女性です。二つ目は高齢化。平均寿命が長い女性は1人で生きていく可能性が高いから。三つ目は貧困問題。高齢女性やシングルマザーの貧困化はますます進んでいく。

野田 私は2人よりドライで、国会議員とは立法によって社会

野田 私は2人よりドライで、国会議員とは立法によって社会

野田 私は2人よりドライで、国会議員とは立法によって社会

野田 私は2人よりドライで、国会議員とは立法によって社会

女性の代弁者がいない

このままでは世界に取り残される

政治における女性比率の低さが特に著しい日本。民間企業に女性管理職登用の数値目標を掲げさせるが、政治こそ変わる必要がある。

野田 私は2人よりドライで、国会議員とは立法によって社会





進連推制を起推進
会起連会盟を
を起連会盟を
を起連会盟を
を起連会盟を

急病などの「育児」も欠席理由に追加してもらえないか、と山田さんの所属する会派が提案したが、認められなかった。この議論の過程で、

「育児の代わりはいるが、議員の代わりはいない」

という発言が男性市議からあったという内容を山田さんがフェイスブックに投稿したところ、この行動が問題視され、山田さんは会派の代表者会議で約3時間間にわたって謝罪と投稿内容の訂正を求められたという。

「議会は少数派の意見が聞き入

れられにくい構造になっている。でも、これは社会的な問題。市民に問いかけていきたい」

2人はそう話す。

2児の母である山田さんは、東日本大震災がきっかけで市民活動を始め、その代表として15年4月の統一地方選に立候補し、初当選した。選挙期間中には子育て経験のある女性から、

「社会を変えるのはいいけど、自分の子の面倒はどうするの」と言われたこともある。

「女性の声を代弁してくれる人が他にいるのなら、私だって子どもと過ごしていたい。でも今の議会にはいないから、自分がやるしかないかった」

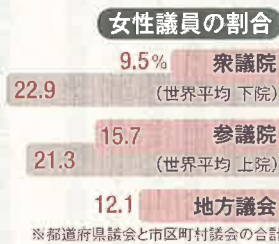
越谷市議会の32議席中、女性は8人で4分の1。ちなみに越谷市の人口の男女比は、ほぼ半々である。

鶏が先か卵が先か

世界経済フォーラムの11月の報告によると、男女格差の少なさを指数化したジェンダーギャップ指数で、日本は145カ国中101位。右下のチャートのように、女性の政治参加が低調なことが順位を下げる要因になっている。

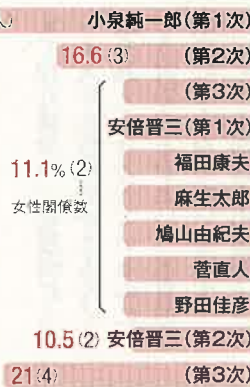
女性登用の数値目標などを義務づける女性活躍推進法を8月に成立させた、その足元の国会に至っては、女性議員の割合は

女性議員は増えている？



歴代内閣発足時の

女性閣僚の割合



主要政党の

国会議員に占める

女性議員の割合



い、と訴える。

わずかに1割だ。安倍政権は「女性が輝く社会」を提唱しているが、国会では前ページで3議員が訴えたようなセクハラさえ横行する。こんな状態で「女性活躍推進」や「1億総活躍」などできるのだろうか。

アエラは10月11日、「女性政治家に望むことは何ですか」というアンケートを実施した(66

増やしてから選ぶ

12月10日には、代表を務める「クオータ制を推進する会」が、「政治分野における男女共同参画推進法(仮)」の制定に向けた決起集会を開いた。公職選挙法の改正により、比例代表の名簿で男女が交互に当選できる仕組みづくりも求めている。超党派の議員連盟は58人になり、来年の通常国会での法案提出を目指す。

民主党の辻元清美・衆院議員

は集会で、「法案ができて立候補する女性がいなければ絵に描いた餅になる」と、女性も政治参加の意識を高めるよう呼びかけた。

「クオータ制を推進する会」が、「政治分野における男女共同参画推進法(仮)」の制定に向けた決起集会を開いた。公職選挙法の改正により、比例代表の名簿で男女が交互に当選できる仕組みづくりも求めている。超党派の議員連盟は58人になり、来年の通常国会での法案提出を目指す。

女性議員を増やすには、制度の整備と意識改革の両輪が必要だ。だが、アエラのアンケートでは「女性なら誰でもいいわけではない」という注文も。クオータ制や選択的夫婦別姓に反対する女性が入閣したことについては、女性議員の多様性を求める声があった。

「とにかく一度、女性の数を増やしてからふるいにかけてほしい」(40代/会社員/女性)

「パッシングされても頑張っている良識ある女性政治家はいるが、女性有権者はお金も時間もなく、なかなか彼女たちを応援できていない。女性が女性政治家にエンパワーメントされることだけ期待せず、女性政治家をエンパワーメントしなくてはなりません」(40代/自営業/女性)

政府は、2020年までに指導的地位に占める女性の割合を少なくとも30%程度にすることを掲げる。だが民間企業に数値目標を求める前に、まずすべきことがある。